

海況速報

平成 19 年度 第 5 号 (通算 No.119)
平成 19 年 12 月 27 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

11 月下旬から 12 月上旬の海況

☆日本海海域

例年よりも水温の低い海域が広くみられます (水温偏差表参照)。特に道北では、海面から 100m 層まで水温が 1～2℃低くなっています。前回 10 月の観測では、水温が例年よりも 2～6℃高い海域が広くみられましたので、この 2 ヶ月の間に水温が急速に下降したことがわかります。

余市における旬平均水温は、9 月～11 月上旬までは「平年並み」から「かなり高い」で推移していましたが、11 月中旬からは「やや低い」になっています。

☆道東太平洋海域

前回 10 月に引き続き、複雑な水温分布になっています。P1 線南側の 41-00N, 146-00E では 100m 層水温が 11℃台、200m 層水温が 5℃台になっており、前回同様、この海域に暖水塊が分布しています。また、海面水温、50m 層水温の水平分布から、沿岸域では道東沿岸流(*1)の流れが明瞭ではなく、すぐ沖側に、暖水塊から派生した北上暖水が分布しています (例：10℃の等温線)。

暖水の分布域では、水温は例年よりも 2～4℃高くなっています (水温偏差表参照)。

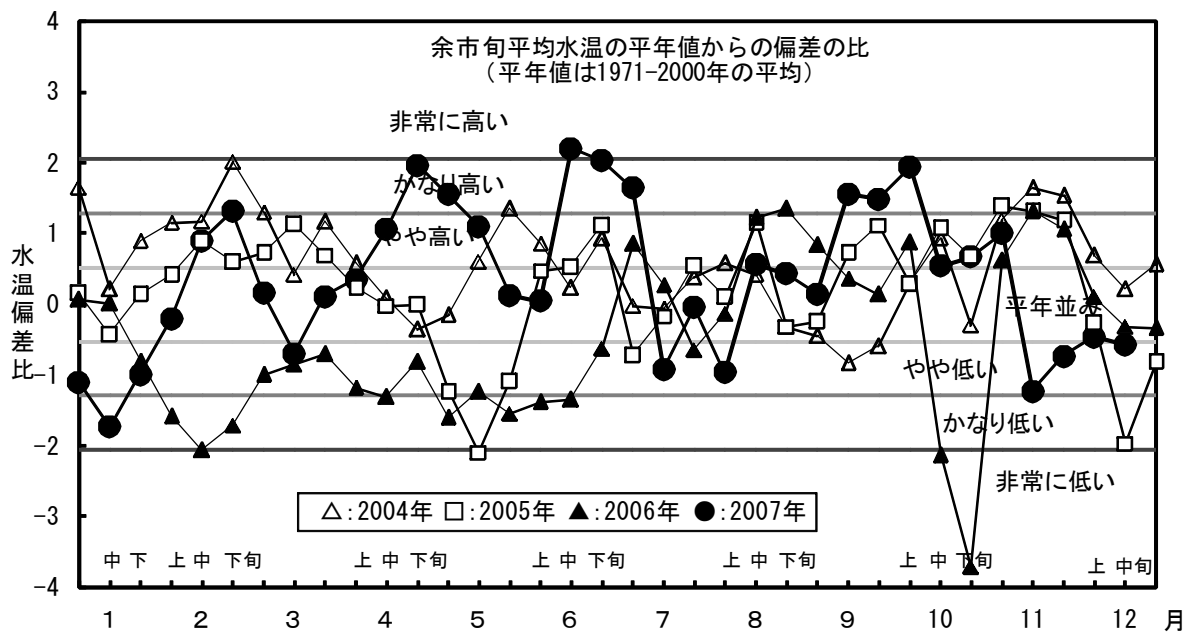
☆オホーツク海海域

海面水温、50m 層水温の水平分布から、オホーツク沿岸域では、宗谷海峡東口付近の海面と紋別沖の 50m 層で水温が高くなっています (約 8℃)。これは、宗谷暖流が紋別沖付近から潜流となって流れているためです。この宗谷暖流の潜り込みは、東樺太海流が北海道沿岸へ接岸したため、と考えられます。

水温は、浜頓別沖の海面で例年より 1～2℃高めですが、その他の海域ではほぼ例年並みになっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
釧路水試 (北辰丸)	2007/11/28-11/30	(道東太平洋海域)
中央水試 (おやしお丸)	2007/11/29-12/01	(道西道南日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2007/12/10-12/12	(道北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2007/12/03-12/05	(オホーツク海海域)

* 1 : 夏～秋季に道東沿岸を流れるオホーツク海起源の沿岸流を道東沿岸流と呼んでいます。



余市前浜水温はホームページでもご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

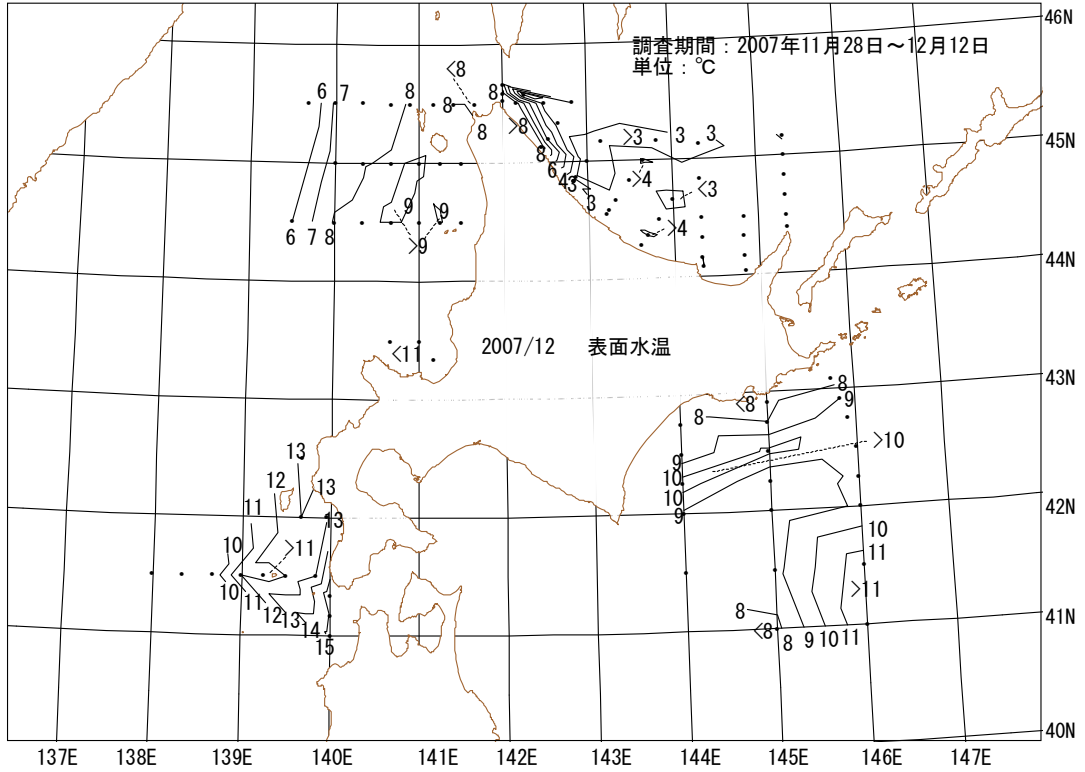
また、余市前浜水温の携帯サイトはこちら

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

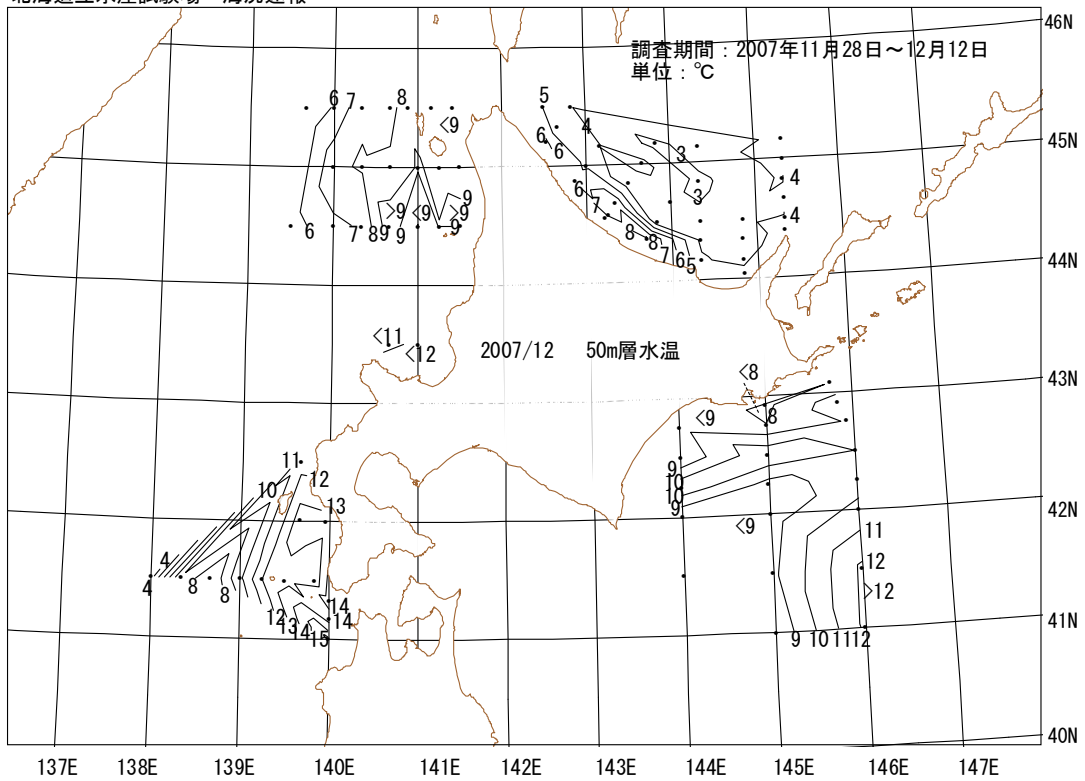
右に QR コードがあります。



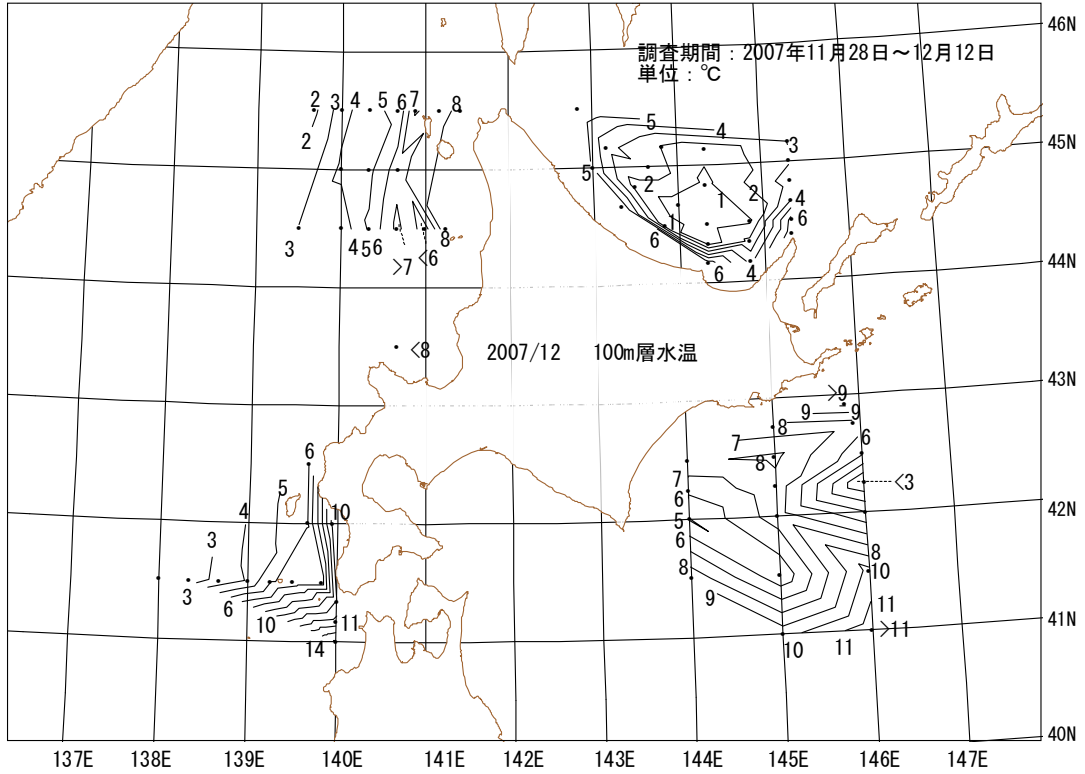
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

